

校長あいさつ

鏡が丘特別支援学校は、昭和40年4月に本県ではじめての肢体不自由養護学校として浦添市に開校し、創立以来発展を続けて、平成27年度に半世紀という創立50周年の大きな節目を迎え、今年度は52年目の歴史を刻んでおります。

この50年の発展には、歴代校長先生方をはじめ本校で勤務された多くの教職員の方々の頑張りや創立以来変わらぬご協力とご支援を頂いている保護者の皆様、地域の皆様の熱意ある活動が大きな力となっており、その思いは永遠と引き継がれております。

新年度の出発を機に教職員一同、さらに10年後、30年後、そして50年後の100周年へと絶え間なく発展させるよう努力する決意を新たにしています。

本校の教育は、個性豊かで、明るく、たくましく、ねばり強く生きようとする「生きる力」の育成をめざしています。

今年度は、138名の児童生徒が在籍しており、下記の児童生徒像をかかげ、子ども達の現在や将来の生活が豊かに送れるよう配慮しながら、指導にあたっています。

めざす児童生徒像

- 明るく元気でたくましい児童生徒（健康）
- 仲良く思いやりのある児童生徒（協力）
- 最後までねばり強く頑張る児童生徒（自立）
- 困難を克服しようと努力する児童生徒（自律）
- よく考え、自ら学び行動できる児童生徒（主体）

ホームページを通して、本校の児童生徒達が明るく、元気に、学んでいる活動ぶりをご覧いただき、今後とも本校の教育に一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



平成29年4月
沖縄県立鏡が丘特別支援学校
校長 久保田 和枝